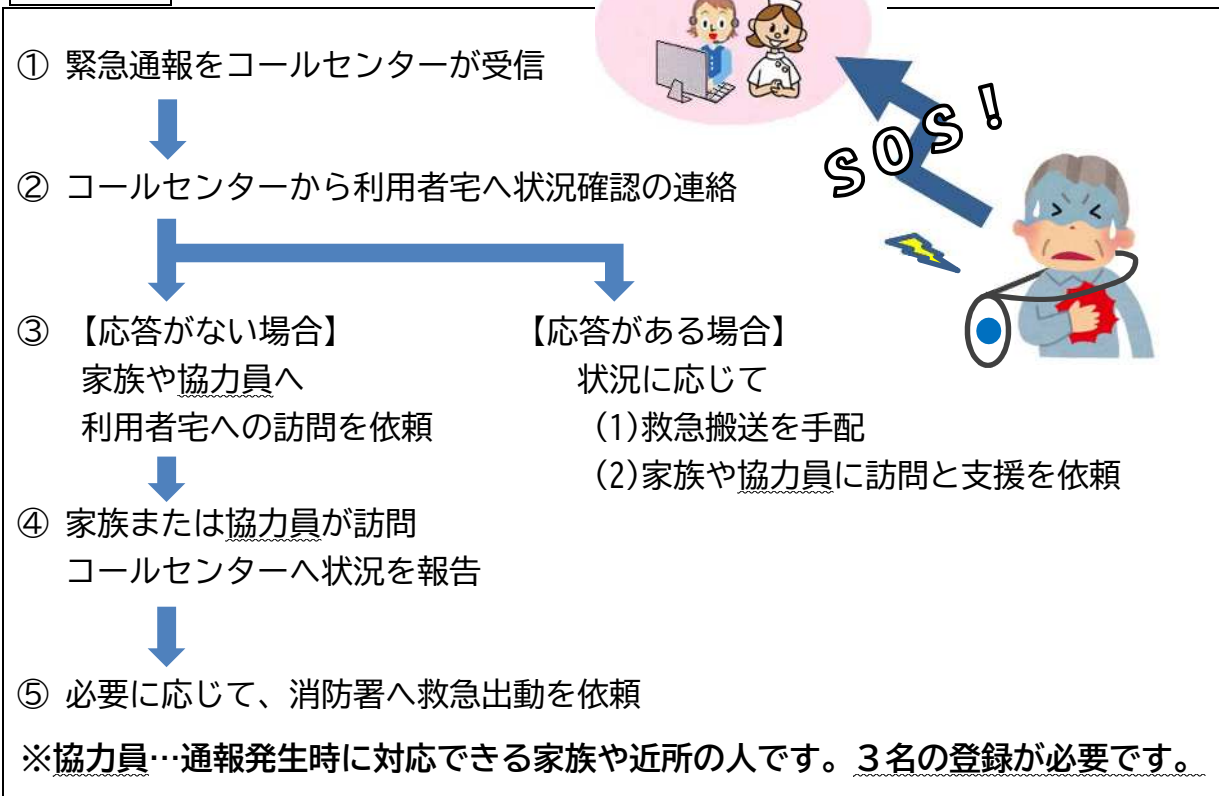


緊急通報装置 のレンタル

町では、急病などの緊急事態を簡単に通報できる機器を貸出しています。
ボタン1つで24時間体制のコールセンターにつながり、迅速な支援を提供します。
また、健康相談も機器を通して行うことができます。機器本体の他に、人感センサーやペンダント型送信機、煙感知器もあわせて貸出しています。(貸与品については4ページをごらんください。)

通報の流れ



対 象 者 一人暮らし高齢者など

例えばこのような方が利用しております

- ・過去に、救急車で搬送された経験があり、緊急時の連絡手段を確保したいから。
- ・体調を崩すことが多くなり、生活に不安を感じているから。

サービスの流れ

- ①お近くの民生委員さんまたは、保険福祉課(☎72-1845)へ相談。
- ②役場職員と面談し、申請書を提出。
- ③後日、サービス提供業者が機器を設置。

利用料金

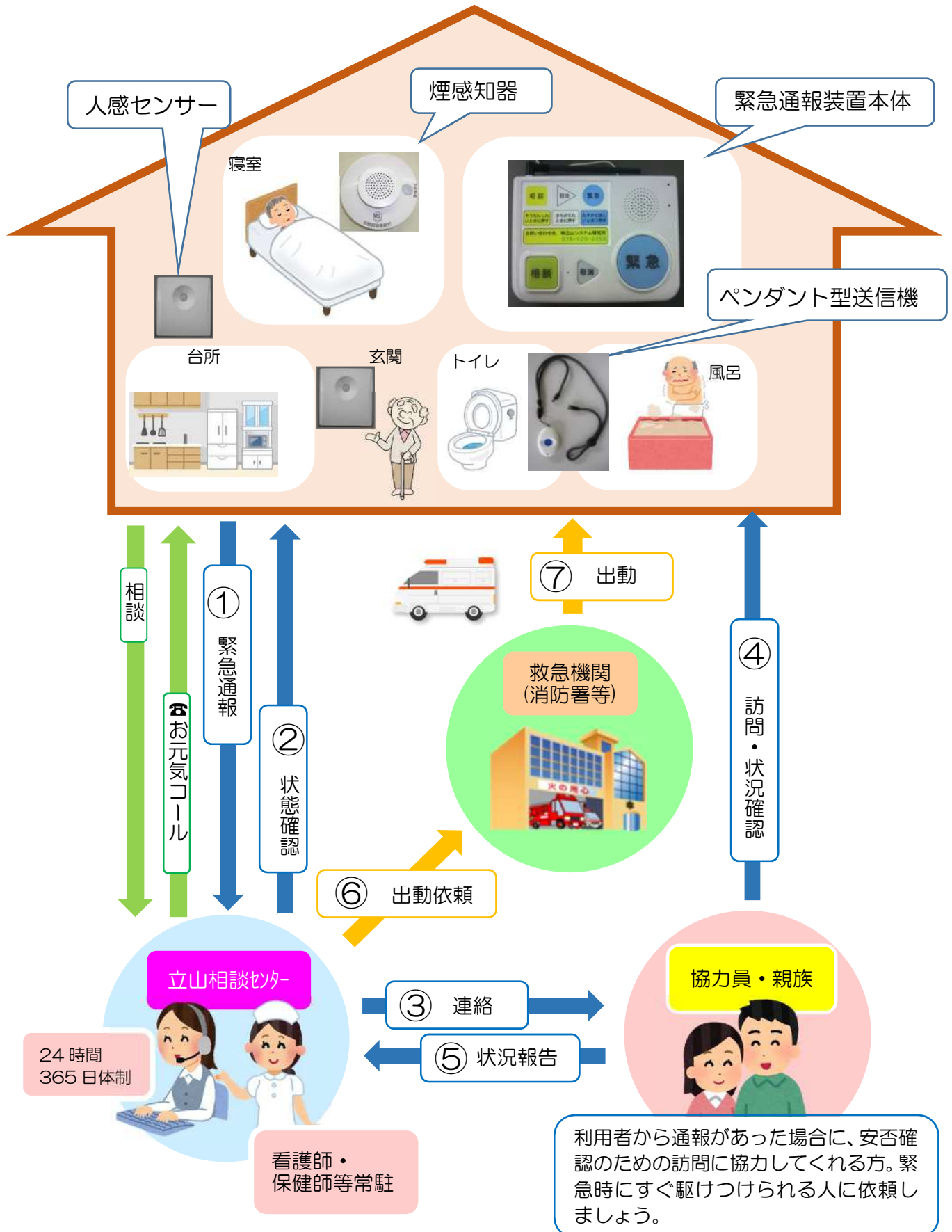
490円/月(口座振替:4月(10~3月分)、10月(4~9月分))

注 意 点

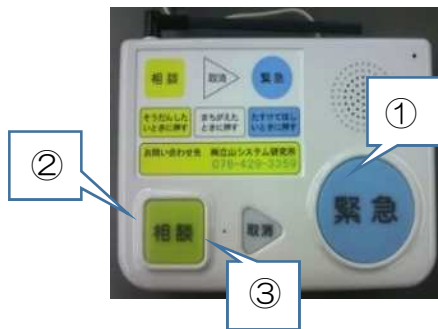
- ・服薬の指示や医療行為、防犯や警備に相当する支援はできません。
- ・本サービスはご利用者への救命行為を提供するものではありません。
- ・固定電話または、携帯電話を所持する必要があります。

緊急通報システムの5つのサービス

1. 緊急通報
2. 相談
3. 安否通報
4. 火災通報
5. お元気コール



機器の役割と設置場所



緊急通報装置本体

① 緊急ボタン

体の具合がわるい時、助けを呼んでほしい時、救急車が必要な時などに押すボタンです。

② 相談ボタン

心配や困ったとき、相談したい時に押すボタンです。

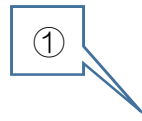
③ 取り消しボタン

間違えて押した場合に押すボタンです。

【設置場所】 電話機の近く

【役割】 1. 緊急通報
2. 相談

※月2回お元気コールといって、コールセンターから健康状態の確認のため電話があります。



ペンダント型送信機

① 緊急ボタン（中心にあるボタン）

体の具合がわるいとき、助けを呼んでほしい時、救急車が必要な時に押すボタンです。

居間、トイレ、脱衣所、お風呂場など、家のどこでも持ち運びが可能です。

【設置場所】 持ち運び可能

【役割】 1. 緊急通報



人感センサー（外出・安否）

人の動きを検知する装置です。

人感センサーで一定時間検知がなかった場合、コールセンターへ自動で通報します。

※カメラではありません

【設置場所】

安否センサー 居間、寝室など
（主に生活する場所）

外出センサー 玄関、勝手口

【役割】

3. 安否確認



煙感知器

煙感知器が異常を検知した場合、緊急通報装置と連動し、コールセンターへ自動で通報します。

【設置場所】 寝室など

【役割】 4. 火災通報